

総長メッセージ

最高の環境で、自分を成長させよう

新入生の皆さん、早稲田大学へようこそ。

これから始まる4年間の大学生活は、人生で一番自由で、自分を大きく成長させることができる貴重な期間です。これからの社会を生き抜くのに必要な洞察力や判断力を磨いたり、生涯を通じて付き合える友人と出会ったり、失敗を恐れず、常に挑戦し続けることで、「人間の力量」を磨いてください。無駄だと思われることでも、必ずこの先のどこかで生きてきます。

皆さんには、人類のため、世界のために貢献する地球市民として、グローバルな視点を持って活動してほしいと思います。日本は、世界は、今や答えのない問題に直面しています。それらへの解決策を自分の頭で考えて自分なりの仮説と

して示し、その仮説を何らかの根拠を示して説得力のあるものにできる「たくましい知性」を身に付けてください。さらに、多様な価値観を持つ人々と意見を交わしながら、異なる他者を受け入れられる「しなやかな感性」を養ってください。そのためには、深い専門的学識と幅広い教養を身に付けることが手助けになります。

早稲田大学には、多種多様な分野で活躍する学友や校友が多くいます。また、皆さんが人間的に成長するために役立つ「場」もたくさんあります。さまざまな活動に挑戦するチャンスに満ちあふれ、それをサポートする施設や学生支援制度が整っています。自分のやりたいことを実現するのに、これほど良い環境はありません。ぜひ、自主自立の精神を育み、この優れた環境を大いに活用して、自分自身を成長させていきましょう。

2032年には、早稲田大学は創立150周年を迎えます。そこに向けた中長期計画「Waseda Vision 150」では、「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」の三大教旨を基に、①「世界の人類社会に比肩しえる研究」を進め、②その学問の成果を社会のために活用し、③「一身一家一国家のためのみならず、世界の人類のために貢献する高い志を持った学生」を輩出することを謳（うた）っています。その結果、「世界で輝くWASEDA」と言えるような素晴らしい大学になるべく、高い志を持って、その実現に向けて着実に歩み始めています。

早稲田大学が次の時代を見据え改革を進めているように、皆さんも自分が将来どうあるべきかを思い描き、その実現に向けて力強く歩を進めてください。4年後、皆さんが高く羽ばたけるように、早稲田大学は全力で皆さんを応援します。



早稲田大学 総長

田中 愛治

たなか・あいじ 1975年早稲田大学政治経済学部卒業。1985年オハイオ州立大学大学院修了、政治学博士(Ph.D.)。東洋英和女学院大学、青山学院大学、本学政治経済学術院教授などを経て現職。2006年から本学の教務部長、理事、および世界政治学会(IPSA)会長などを歴任。